

表3 只見家庭教育学級学習計画

月	学習課題	学習内容	学習方法	時間
4	・開講式 ・これから家庭教育	・家庭教育学級の意義と自主運営について ・欧米の家庭教育と日本の家庭教育	・説明と話し合い ・講義	2.5
5	・子供のおやつ	・手づくりのおやつを考える	・実習	2.5
6	・子供のしつけ	1 家庭におけるしつけ ・しつけの基本、内容、方法 ・ほめかた、しかりかた	・講義と話し合い	2.5
7	(基本的なしつけのあり方)	2 集団生活におけるしつけ ・基本的行動様式とそれらを身につけさせる手だて	・講義と話し合い	2.5
8	・親と子のレクリエーション	・子供といっしょに野外で遊ぶ ・レクリエーションの実技 ・楽しいゲーム ・親子体操等	・実技	4.0
10	・明るい家庭と近所づきあい	・望ましい家庭環境づくり ・家族関係 ・近隣とのつきあいかた	・講義と話し合い(個別相談)	2.5
10	・家庭劇場へ参加	・家庭劇場「うたのひろば」の鑑賞(子供といっしょ)	・鑑賞	
11	・幼児の性格形成と家庭環境	・子供の性格形成と家庭環境とのかわりあいについて ・忙しい家庭と子供 ・留守家庭の子供 ・子供を生かすことば「ころすことば」	・講義 ・グループ討議	2.5
52.2	・年間の学習反省と今後のあり方 ・閉講式	・学習のまとめと評価 ・子供たちの生活環境について ・学習を生かす今後のありかた(グループづくりと活動のしかた) ・閉講式	・講話 ・研究討議(グループ~全体)	2.0



学習の合間にフォークダンス(明和若いミセス学級)

乳幼児学級は、昨年はじめて只見公民館で開設したが好評を得た。その実績と反省を生かして、今年度は朝日公民館に開設。来年度は明和公民館で開設する予定である。

只見公民館では、昨年度とのつながりをもたせて幼児期を、明和公民館では前年度の継続で、若妻を対象に、それぞれ幼児期の家庭教育に関する内容を中心に、深まりをねらってすすめられている。

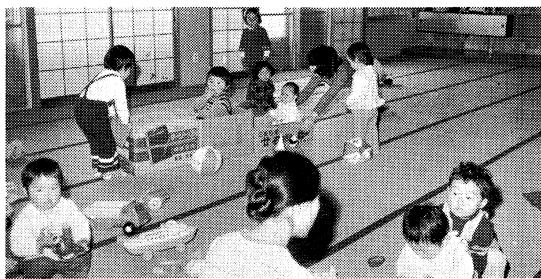
(2) 学習計画(表2、3参照。「若いミセスの学級」分は省略。)

(3) 学級の運営は全学級生で各学級とも、五、七名の運営委員を選出、委員を中心として、全学級生一人一役の係り分担により、公民館主事

町社会教育指導員、社会教育主事等の助言を得て、自主的に運営されている。

(4) 婦人ボランティアによる託児  
乳幼児学級の開設で、一番の問題は託児問題であるが、婦人ボランティアグループ(婦人教育指導者研修終了者が中心)等による、自主的な協力を得て進められている。しかし、子供の数が多い場合など、託児用の設備、用具等もふじゅうぶんで四、五人では、容易でないようである。

(5) 出席状況  
農繁期や豪雪期、また、就労婦人の増加傾向等から、開催日時、託児等には特に配慮しているが、現在までの出席状況は、六〇パーセント前後である。



婦人ボランティアグループによる託児(只見学級)

(1) 講義中心の学習傾向が強いので、話し合い、体験発表、実習、レク等有効にとり入れるようくふうをする。

(2) 近隣学習グループの育成をめざし住民の学習意識を高めるとともに、リーダーの養成、託児対策等、積極的に取り組む必要がある。

(3) 生がいの各時期を通して、必要な学習を継続して行い得るよう、生がいの教育の体系化を図らなければならない。

### 三、今後の問題

なお、現在まで、一度も出席しない学級生は一人もいない。また、よいリーダーのいる部落では、自主学習会がもたれたり、出席状況もよい。



只見家庭教育学級の「おやつづくり」